

DANCE FORCE

ALL JAPAN DANCE CHEER COMPETITION

DANCE FORCE 2027

競技・演技規定

目 次

- 01 | Cheer Dance — Competition Mini・Youth
- 02 | Cheer Dance — Competition Junior・Senior・Open・Mix
- 03 | Cheer Dance — Evaluation Little・Elementary・Mix
- 04 | Dance — Entertainment Kids・Open
- 05 | Dance — Jazz Kids・Open
- 06 | Showtime

01 | Cheer Dance — Competition

Mini・Youth

演技内容	振付・演出・衣装・使用する楽曲は、年齢相応であること またすべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
音楽	曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであること 違法なダウンロードによる曲の使用不可
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 [※前回実績：日本チアダンス協会 (JCDA) , 一般社団法人 Cheer & Dance Education (USA Japan) より1名ずつ] 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3名以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 20m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップについて、 落下の際選手の負傷につながるものの使用は避けること 、また年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止、演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
部門スタイル	美しく、シャープで正確な Pom モーションとダンステクニック、視覚的効果や同調性が求められる チームがシンクロし、ひとつに見えることが重要であり、演技全体を通して Pom を使用すること
演技時間	1分30秒以上 2分00秒以内厳守 ※入退場は20秒以内を目安にすること
手具・道具	Pom 以外の手具（小道具・大道具など）は使用不可

安全規定	1)安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 2)手に全体重をあずける動作は、手に何も持っていない状態で実施しなければならない(例外：前転・後転) 3)立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつ伏せ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に体重が乗るように行うこと 4)ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手(片手含む)からの着地が可能、後方への導入は不可
タンブリング	タンブリングは実施できるが推奨はされない タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングをしながら通過・越えることは禁止
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できるが推奨はされない
減点について	違反技・違反行為を行った場合は1違反につき最終スコアから-2点の減点とする
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した以下の場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブルがあった場合 ②チーム責任による、進行の妨げとなるトラブルがあった場合 再演技の審査は、一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる いずれの場合も全ての判断は主催者が行う 2)チーム起因によるトラブルが発生した場合は、主催者は一切の責任を負わない チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす

02 | Cheer Dance — Competition

Junior・Senior・Open・Mix

演技内容	振付・演出・衣装・使用する楽曲は、年齢相応であること またすべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
音楽	曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであること 違法なダウンロードによる曲の使用不可
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 [※前回実績：日本チアダンス協会（JCDA）、一般社団法人 Cheer & Dance Education（USA Japan）より1名ずつ] 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3名以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行き 15m×幅 20m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップについて、 落下の際選手の負傷につながるものの使用は避けること 、また年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
部門スタイル	美しく、シャープで正確な Pom モーションとダンステクニック、視覚的効果や同調性が求められる チームがシンクロし、ひとつに見えることが重要であり、演技全体を通して Pom を使用すること
演技時間	1分45秒以上 2分00秒以内厳守 ※入退場は20秒以内を目安にすること
手具・道具	Pom 以外の手具（小道具・大道具など）は使用不可

安全規定	1)安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 2)手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない(例外：前転・後転)
タンブリングに関する 個人での実施に関して	タンブリングは実施できるが必須ではない、実施する場合は、下記を遵守すること タンブリング & エアリアルストリートスタイルスキル 1)逆さまの状態の技 ・空中に浮いた状態で行わない技は実施可（三転倒立） ・手の支えのもと行う空中で逆さになる技は実施可。その際ボンや衣装の一部を持たずに行うこと 2)腰が頭を超える回転を含む技 ・空中に浮かない技は実施可 ・手の支えのもと行う、空中に浮く回転技は2連続まで実施可 ・空中に浮く技で手の支えが無い物は以下の条件を全て満たす場合に限り実施可 ◇ひねりは最大1回転まで ◇手の支えがない空中で腰が頭を超える回転技と繋げての連続実施は不可 ◇2連続まで実施可 3)腰が頭を超える回転を含むタンブリングをしている選手同士が、お互いの体の上や下を通過・越えることは不可 4)腰の高さを超えない空中技から、肩・背中・座位の姿勢で演技フロアに着地することは可能（※膝、腿、うつ伏せ、頭での着地は不可） 5)手にボンや手具、衣装の一部を持った状態で空中に浮いた技から、腕立て伏せの状態フロアに着地することは不可
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できる（但し、危険が伴わないものに限る。一般競技大会推奨レベルとする）
減点について	違反技・違反行為を行った場合は1違反につき最終スコアから2点の減点とする
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した以下の場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブルがあった場合 ②チーム責任による、進行の妨げとなるトラブルがあった場合 再演技の審査は、一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる いずれの場合も全ての判断は主催者が行う 2)チーム起因によるトラブルが発生した場合は、主催者は一切の責任を負わない チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす

03 | Cheer Dance — Evaluation

Little・Elementary・Mix

演技内容	振付・演出・衣装・使用する楽曲は、年齢相応であること またすべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
音楽	曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであること 違法なダウンロードによる曲の使用不可
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 [※前回実績：日本チアダンス協会（JCDA）、一般社団法人 Cheer & Dance Education（USA Japan）より1名ずつ] 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3名以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 20m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップについて、 落下の際選手への負傷につながるものの使用は避けること 、また年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
部門スタイル	正確な Pom モーションの実施、チームワークと一体感が見えること、演技全体を通して Pom を使用すること
演技時間	1分30秒以上 2分00秒以内厳守 ※入退場は 20秒以内を目安にすること
手具・道具	Pom 以外の手具（小道具・大道具など）は使用不可

安全規定	1)安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 2)手に全体重をあずける動作は、手に何も持っていない状態で実施しなければならない(例外：前転・後転) 3)立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつ伏せ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に体重が乗るように行うこと 4)ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手(片手含む)からの着地が可能。後方への導入は不可
タンブリング	タンブリングは実施できるが推奨はされない タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングをしながら通過・越えることは禁止
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できるが推奨はされない
減点について	違反技・違反行為を行った場合は 1 違反につき最終スコアから 2 点の減点とする
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した以下の場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブルがあった場合 ②チーム責任による、進行の妨げとなるトラブルがあった場合 再演技の審査は、一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる いずれの場合も全ての判断は主催者が行う 2)チーム起因によるトラブルが発生した場合は、主催者は一切の責任を負わない チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす

04 | Dance — Entertainment

Kids・Open

演技内容	振付・演出・衣装・使用する楽曲は、年齢相応であること また、すべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること（暴力的・虐待的な振付は禁止）
音楽	曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであること 違法なダウンロードによる曲の使用不可
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 [前回実績：業界トップレベルのダンサーや振付師] 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3 名以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 20m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップについて、 落下の際選手の負傷につながるものの使用は避けること 、また年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
部門スタイル	Pom/Cheer Dance/Jazz 以外のダンスがこの部門に該当する 例) Hip Hop/ブレイキン/ワックなど ※ストリートジャズに関して、ジャンプやターンなどジャズテクニクが多く含まれる場合は Jazz 部門へのエントリーも可能
演技時間	3 分 00 秒 以内厳守 ※入退場は 20 秒以内を目安にすること
手具・道具	自由とする ※ただし演技中に使用する全ての手具や道具は選手自身がフロア内に運び設置、及び撤去できるものとする ※使用する手具や道具は床を傷つけないものに限り、使用可能かどうかは事前に相談をすること

構成	自由とする
安全規定	安全性を考慮していない危険な行為、ヘルメットの使用及びフロアを傷つける恐れのある行為は禁止
タンブリング	タンブリングは実施できるが推奨はされない タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングをしながら通過・越えることは禁止
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できるが推奨はされない
減点について	違反技・違反行為を行った場合は 1 違反につき最終スコアから 2 点の減点とする
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した以下の場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブルがあった場合 ②チーム責任による、進行の妨げとなるトラブルがあった場合 再演技の審査は、一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる いずれの場合も全ての判断は主催者が行う 2)チーム起因によるトラブルが発生した場合は、主催者は一切の責任を負わない チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす

05 | Dance — Jazz

Kids・Open

演技内容	振付・演出・衣装・使用する楽曲は、年齢相応であること またすべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること（暴力的・虐待的な振付は禁止）
音楽	曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであること 違法なダウンロードによる曲の使用不可
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 [前回実績：業界トップレベルのダンサーや振付師] 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3名以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 20m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップについて、 落下の際選手の負傷につながるものの使用は避けること 、また年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ（滑ってしまい危険なため）、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
部門スタイル	Pom/Cheer Dance/ストリート系ダンス以外のダンスがこのセクションに該当する 例) Jazz/Contemporary/Lyrical/バトンなど
演技時間	3分00秒 以内厳守 ※入退場は 20秒以内を目安にすること
手具・道具	自由とする ※ただし演技中に使用する全ての手具や道具は選手自身がフロア内に運び設置、及び撤去できるものとする ※使用する手具や道具は床を傷つけないものに限り、使用可能かどうか事前に相談をすること

構成	自由とする
安全規定	安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止
タンブリング	タンブリングは実施できるが推奨はされない タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングをしながら通過・越えることは禁止
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できるが推奨はされない
減点について	違反技・違反行為を行った場合は1違反につき最終スコアから2点の減点とする
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した以下の場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブルがあった場合 ②チーム責任による、進行の妨げとなるトラブルがあった場合 再演技の審査は、一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる いずれの場合も全ての判断は主催者が行う 2)チーム起因によるトラブルが発生した場合は、主催者は一切の責任を負わない チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす

06 | Showtime

Showtime

演技内容	振付・演出・衣装・使用する楽曲は、年齢相応であること またすべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること DANCE FORCE の主旨を理解し、会場を盛り上げてくれる内容であること
音楽	曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであること 違法なダウンロードによる曲の使用不可
人数	5名以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 20m以内 ※競技セクションではないため多少のフロアオーバーは可 但し、照明器具にあたらない範囲であること 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
演出	照明による演出あり（照明の演出リクエストは不可）
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップについて、落下の際選手の負傷につながるものの使用は避けること、また年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ（滑ってしまい危険なため）、または床を傷つける恐れがあるものは禁止
演技時間	3分00秒 以内厳守 ※入退場は20秒以内を目安にすること
手具・道具	自由とする ※ただし演技中に使用する全ての手具や道具は選手自身がフロア内に運び設置、及び撤去できるものとする ※使用する手具や道具は床を傷つけないものに限り、使用可能かどうか事前に相談をすること

構成	自由とする
安全規定	①フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ②その他、危険が伴う動きは細心の注意を払い、出場者自身が怪我のないよう自己責任の下行うこと
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した以下の場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブルがあった場合 ②チーム責任による、進行の妨げとなるトラブルがあった場合 再演技の審査は、一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる いずれの場合も全ての判断は主催者が行う 2)チーム起因によるトラブルが発生した場合は、主催者は一切の責任を負わない チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす